

# トビタテ！留学 JAPAN

## 日本代表プログラム(第 14 期)の募集について

日本学生支援機構(以下JASSO)より、「トビタテ！留学JAPAN」日本代表プログラム(以下、トビタテ)の募集通知があったので、下記の通り学内募集を行う。

### <注意事項>

トビタテは、「**学生が自ら留学計画を作成**」することと「**多様な実践活動を支援**」することを特徴とした奨学金プログラムです。

- ・ 派遣交換留学等大学のプログラムを利用して受入れ機関に応募することは可能ですが、留学期間(年月日まで管理が必要)や実践活動内容等、**留学計画に含まれる項目は全て自ら立案したものと扱われます。**
- ・ 留学計画書に記載した**留学計画を実行することを約束として奨学金が支給される制度**です。
- ・ 当初申請した留学計画を実行できない場合や大幅な変更がある場合、定められた規程を遵守できない場合には、**奨学金の返納を求められる可能性**もあります。

### 記

#### 1. 概要

トビタテは学生が**自ら計画した留学計画**が審査され、合格者に対して奨学金等が支給されるものである。留学内容は受入れ機関が存在するものであれば種類を問わない。合格者は事前・事後研修への参加や留学中に日本の広報活動(アンバサダー活動)を行うこと、留学後に留学機運醸成の為の活動(エヴァンジェリスト活動)に協力すること等が求められる。

本学留学案内HP：<http://www.titech.ac.jp/enrolled/abroad/scholarships/recommendations.html>

トビタテ募集HP：<https://tobitate.mext.go.jp/info/document/>

トビタテ概要HP：<http://www.tobitate.mext.go.jp/>

※学生向けだけでなく、大学等向け資料(上記 URL 参照)にも目を通すことを強く推奨する。

#### 2. 募集分野

- ①-1 理系、複合・融合系人材コース
- ①-2 理系、複合・融合系人材コース(未来テクノロジー人材枠)
- ②新興国コース
- ③世界トップレベル大学等コース
- ④多様性人材コース(スポーツ、芸術/国際協力等)※理系分野の場合は①-1もしくは①-2、人文・社会学系分野の場合は②③から、その他は④を選択すること。  
**(理系分野の場合、②③に該当する場合も、①-1 もしくは①-2 で応募すること。トビタテの募集要項「5.支援の対象」を参照のこと。)**

#### 3. 応募資格

- ・ 日本国籍を有する、もしくは日本永住資格を有すること
- ・ 応募・留学時および 2021 年 4 月 1 日時点で 30 歳以下の本学学士・修士・博士正規課程の学生であること(応募時点で他の大学等に在籍し、留学時に本学に在籍する予定である者は「8. その他」を参照のこと。)
- ・ 留学中に「**実践活動**」(「実社会と接点」を持つ学修活動)を行うこと(座学のみは不可。大学等における**実験、研究等は実践活動として申告可。**)
- ・ **2021 年 8 月 10 日から 2022 年 3 月 31 日までの間に留学を開始し、留学期間が 28 日以上 1 年以内**であること

## 【留意事項】

- ・ **留学計画書に記載した活動は全て実際に実行することが求められる**
  - ↳ 実践活動が示す活動内容についてはトビタテの HP の下記 web ページ等を参照。
  - ・ 「大学生等コースについて(FAQ)」→「どんな留学計画が対象になりますか？」  
<https://tobitate.mext.go.jp/faq/index.html#faq02>
  - ・ 「大学生等コース HP」→「留学計画書の作り方」→「POINT3 ※1」  
<https://tobitate.mext.go.jp/univ/program/planning/>
- ・ トビタテの募集要項を熟読した上で申し込むこと  
<https://tobitate.mext.go.jp/info/document/>
- ・ **応募時点で、外務省の「海外安全ホームページ」上、危険情報及び感染症危険情報において、「レベル 2: 不要不急の渡航は止めてください」以上であっても、応募、選考には差支えないが、留学開始時点及び留学計画開始後に「レベル 2」以上となった場合は、原則、奨学金等の支給対象外となる。**(トビタテ募集要項 5、支援対象(2)留学計画の要件⑥、また、第 14 期 FAQ 参照。)  
<https://tobitate.mext.go.jp/news/detail.html?id=246>

上記に加え、本学では以下の応募条件も満たすこととする。

- ① 新型コロナウイルスに対する、本学の対応方針レベルに関わらず、留学計画については、家族・保証人及び指導教員に相談し同意を得ることを必須とする。(留学開始前には本学様式の誓約書を提出すること。)
  - ② 留学計画の実現性を確認するため、留学計画書に記載する受入れ機関とのメール等、受入れ機関とコンタクトが取れている、また、受入承諾の意思があることがわかる資料を学内申請〆切日までに提出すること。(トビタテの選考でも、留学計画の実現性を証明できる文書等については加点対象となる。トビタテの募集要項 6. 4)「留学計画の実現可能性」参照)
- ※ インターンシップやボランティアを計画に含める場合には、予め受入れ機関で実現可能な活動内容や受け入れ条件を十分に確認し、留学開始後に留学計画の変更が出ないよう情報収集や交渉を進めることを強く推奨する。

留学開始後の変更申請において、事前の情報収集や交渉不足を指摘されるケースがある。**留学計画を実行できない場合には、たとえ留学終了後であっても、受給済みの数十万円～数百万円の奨学金の全額一括返納を求められる可能性もある。**

※ 派遣交換留学(2021 年秋出発、2022 年春出発)の場合

「5. 提出書類および提出期限」②の提出は不要。「5. 提出書類および提出期限」①の留学先プログラム名で「派遣交換留学」を選択すること。

※ ダブルディグリープログラムの場合

研究室が決定していない/指導教員とのコンタクトを開始していない場合には、東工大でダブルディグリープログラムに採用されたことがわかる書類をもって「5. 提出書類および提出期限」②とする。具体的な受入期間(日付)が明確でない場合は、アカデミックカレンダー等を元に記載し、採用後、確定し次第留学生交流課に連絡すること。

※ 本学協定校以外の大学に私費留学する場合

受入許可書等の発行が学内応募締め切りに間に合わない場合は、出願スケジュール

等がわかる資料を提出すること。

- ③ 現在休学中の者については、原則として応募を認めないが、派遣前に復学する場合に限り、理由の如何によっては応募を認めることがある。事前に留学生交流課に相談すること。
- ④ 外務省の海外安全ホームページの危険情報及び感染症危険情報について確認すること。学内の留学プログラムで留学をする場合、留学プログラムごとに渡航可否の判断基準が異なる場合がある為、留学プログラムの渡航要件をよく確認すること。  
また、渡航地域のレベルが引き上げられた場合や本学が危険と判断した場合は、留学を延期、中断または中止することになるので留意すること。

#### 4. 支援内容

渡航先によって異なる。トビタテ HP および募集要項を参照のこと。主な分類は以下の通り。

奨学金(月額):16 万円(西欧, 北米), 12 万円(アジア, 中南米, アフリカ, 東欧)

留学準備金:25 万円(アジア以外), 15 万円(アジア)

授業料: 一律 30 万円

※渡航先に「授業料(語学を除く)」として支払う場合のみ

※JASSO第二種奨学金に掲げる家計基準を越える場合、奨学金月額は一律 6 万円になる。

第二種奨学金 HP:[http://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu\\_short.html](http://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_short.html)

※第二種奨学金家計基準の目安については、各自 JASSO の HP を確認すること。

#### 【学士課程】

本人の父および母, 又は父母に代わって家計を支えている人の前年収入金額(2019 年 1 月～12 月分)による。兄弟の人数等家庭の状況によって基準値が異なる。

#### 【大学院課程】

本人の前年収入金額(配偶者がいる場合は、配偶者の収入を含む。ただし、定職収入がある場合に限る。)による。

#### 5. 提出書類

##### および提出期限

#### 1. 学内申請〆切:2021 年 1 月 26 日(火) 11 時

→下記の①～④を紙媒体で提出。

※様式は本学 HP からダウンロードすること。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/abroad/scholarships/recommendations.html>

※日本語, 英語以外の場合は和訳を添付すること。

※提出書類は返却しない

- ① 第 14 期 トビタテ! 留学JAPAN 学内申請書
- ② 留学計画の実現可能性を示す資料(受入機関とコンタクトが取れている/受入機関の受入承諾の意向がわかる資料等)  
※大学等の高等教育機関における活動の外, 別途インターンやボランティア活動等を行う場合、当該活動の受入れ機関の資料も併せて提出すること。  
※海外大学(派遣交換留学を含む)等において 2 セメスター修学した後にインターン・ボランティア等の実践活動を行う場合で②の提出が難しい場合は、計画書を提出すること。1 セメスター以内の修学後に上記の実践活動を行う場合は②を提出すること。
- ③ 家計状況申立書  
2021 年 4 月 1 日時点で学部生の場合: 学士課程用を提出。  
源泉徴収票等(2019 年 1 月～12 月)の写しを別紙にて提出すること(A4 サイズ紙で)。  
源泉徴収票の取り寄せには時間がかかるので、余裕を持って準備すること。  
2021 年 4 月 1 日時点で大学院生の場合: 大学院課程用を提出。源泉徴収票等は不要。
- ④ (授業料を申請する場合)授業料の根拠となる資料(留学先大学HPの写し等)

## 2. 留学計画提出(オンライン申請)〆切:2021年2月1日(月)23時59分まで

※上記の〆切時刻以降はシステムが閉じるため入力不可。

### 6. オンライン入力～応募完了までの流れ

- i. 1月26日(火) 11時までに「提出書類および提出期限」記載の①～④を提出した者に対して、提出日から3営業日以内(不備がある場合はこの限りではない)にオンライン申請用のキーコードを通知するので、2月1日(月)23時59分までにオンライン入力を行い申請すること。
- ii. 「5. 提出書類および提出期限」③の申請内容に基づき、大学全国コース(家計基準を下回る場合)と大学オープンコース(家計基準を上回る場合)のどちらに該当するか案内する。
- iii. オンライン入力内容及び提出書類の確認後、関係教員で内容確認し、応募を認めるか判断する。オンライン入力内容及び提出書類に不備がある場合は、留学生交流課からの案内(2月12日頃までに通知)に従って修正すること。(修正期限等詳細は該当者に案内する。)
- iv. 修正のある者については留学生交流課の案内に従い期日までに修正を行うこと。
- v. オンライン入力を修正する際には、留学生交流課から修正を指示する内容に加え、文言を多少修正することは構わないが、日程や行き先を修正することは認めない。
- vi. 関係教員で内容確認後不備がなければ大学で取りまとめ応募し、応募者へ応募完了報告を行う。

※紙媒体はA4 サイズ・縦に統一の上、クリップ留めで提出。「5. 提出書類および提出期限」の②④は両面刷り可。

※応募にあたっては、アカデミック・アドバイザー(学士1, 2, 3年), 指導教員(学士4年以上および学士特定課題研究を開始している学士3年)による承認(学内申請書への押印または署名)が必要になるので、余裕を持って準備すること。

※上記提出期限において書類不備、もしくは提出期限を過ぎての応募を受理しない。

※学内応募〆切はヒタテ事務局の〆切日より早いので注意すること。

※書類受理の後、修正がある場合は短期間で対応を依頼することとなるので留意すること。

### 7. 提出先

学務部留学生交流課派遣担当

(南6号館3階308, 学内便S6-7, メール:[hakenryugaku@jim.titech.ac.jp](mailto:hakenryugaku@jim.titech.ac.jp))

※紙媒体の提出方法は持参と学内便のいずれも可。大岡山の学生は直接持参が望ましい。

### 8. その他

- ・ 採用後、留学に当たっては、留学開始日と留学終了日の年月日が明確に記載された受入許可書を取得する必要がある。

大学の留学プログラムを使用して留学する場合も、留学開始日および終了日の日付の管理をプログラム担当教職員に任せるのではなく、**応募者の自身が、ヒタテ**に申請した留学計画書記載の日付を把握し、受入許可書との相違が無いか**確認の上、必要な諸手続きを踏む必要**がある。

- ・ 応募にあたっては、周囲(家族や指導教員)の理解・協力が不可欠なので、応募前に十分に話し合い、無理のない計画を立てること。また、本学での修学計画にも留意すること。
- ・ 採用後で留学計画を変更する場合は奨学金等の支給を一時停止して再審査が行われるので、受入れ機関、留学期間等の記入は熟考の上行うこと。なお、変更申請が承認されず、採用取消になることもあるので留意すること。
- ・ 内容によっては関係教員による審議の上、応募を認めないこともあるので留意すること。
- ・ 留学期間中は毎月、受入れ先機関の指導教員等に在籍を確認する署名を依頼し、本学

に所定の在籍確認書を提出する必要がある。

- ・ 現在、他の大学等に在学中で、2021年4月に本学に入学する場合は、現在在学中の大学等から応募すること。ただし、本学にも1月26日(火)11時までに「5. 提出書類」の①～④を提出、2月12日(金)11時までにオンライン入力内容の写し及びアップロード資料の写しを本学にも提出すること。(書面はメール・郵送可、①は原本が必要)その際、本学の応募条件を満たしているか確認し、採用された場合に本学で引継ぎ可能か判断する。

○本奨学金の支援を受けて渡航する場合には、以下について留意すること。

- ・ 「誓約書(様式あり。署名者:本人及び保証人等。)」を留学開始前に提出すること。
- ・ 本学の指定する海外旅行保険に必ず加入すること(保険会社はAIG損害保険株式会社。補償内容は、治療・救援費用が3,000万円以上、個人賠償責任が1億円以上。危機管理サービスを含む)。海外旅行保険費用については留学生本人の負担である。(危機管理サービスにかかる費用は大学が負担する。)
- ・ 他の奨学金を受給中、または受給予定の場合は、トビタテへの応募や併給が認められるか確認すること。
- ・ 帰国後、特段の理由がない限り、本学で行う留学報告会や留学フェアに協力すること。

※応募後の予定は以下の通りである。

|          |        |
|----------|--------|
| 書面審査結果通知 | : 4月下旬 |
| 面接審査     | : 5月中旬 |
| 採否結果通知   | : 6月上旬 |

## 9. 留学計画

### 作成上の注意

○計画全体について

トビタテの募集要項やHPに求める人物像や審査の観点が網羅されているので、計画書作成前に熟読すること。

○期間について

開始月と終了月に関わらず奨学金支給条件は、**各月15日以上受入れ機関、国・地域に滞在することである。**また、奨学金が支給されない月も留学期間として申告した場合は在籍確認(現地担当者にサインを頂く)をする必要がある。奨学金支給月数は応募時の期間をもとに算出されたものが上限となる。**採用後に変更申請を行い、留学期間が長くなっても、支給月数を増やすことはできないので留意すること。**また、期待されているエヴァンジェリスト活動を在学中に実行するためにも3月卒業予定者は同年の1月まで、9月卒業予定者は同年の7月までに留学終了日を設定することが望ましい。

○受入れ機関ごとのスケジュールについて

1 か所だけに留学する場合でも授業期間やテスト期間等に分け、留学中の段取りが見えるように記入すること。

2 か所以上に留学する場合、具体的に何月何日まで留学先Aに在籍し、何月何日から留学先Bに在籍するのかが読み取れるように記入すること。

## 10. 問合せ先

学務部留学生交流課派遣担当(南6号館3階308)

電話:03-5734-7645 メール:[hakenryugaku@jim.titech.ac.jp](mailto:hakenryugaku@jim.titech.ac.jp)

※オフィスアワー: 9:00 ~ 12:00, 13:30 ~ 17:00

以上